

## 平成23年度 第1回理事会 議事録

日 時：平成23年6月20日 場 所：日本医療福祉専門学校 8F

出席者：(敬称略)

稲垣 毅 (海南病院)、岩丸 陽彦 (刈谷豊田総合病院)、新美 修治 (かなめ病院)、  
佐藤 嘉晃 (名古屋医専)、澤田 泰洋 (中部大学)、佐久間 大輔 (あさい病院)、  
田口 真司 (日本医療福祉専門学校)：(以上理事)  
山中 武彦 (日本福祉大学)、水口 和代 (愛知医療学院短期大学)、  
今別府 学 (八事病院)：(以上委員長)  
中村 美穂 (刈谷豊田総合病院：第19回 愛知県作業療法学会 学会長)  
書記 磯貝 理栄 (日本医療福祉専門学校：事務局員)

### 報告事項

**会 長**：7月30日・31日 協会・都道府県士会合同役職者会議に出席予定

訪問リハビリテーション地域リーダー育成研修会開催 協会より昨年度の担当者で出て  
いただきたいと要望あり、堀部氏・西村氏に依頼した。

地域医療再生に関する三師会連絡協議会 9月東郷にて相談業務を行う予定だったが、担  
当者都合により中止となった。今後について、現在は不明。

**副会長**：特になし

**事務局**：愛知県女性総合センター(ウィルあいち)登録 継続手続き完了 (H23.6.7)

今年度より、会員情報、入金状況などの打ち込み業務を外部委託している。

**広報部**：ニュースの発送が業者間の問題で遅れている。間もなく到着予定。7月の勉強会(学術部)  
の案内が遅れてしまうため、ハガキで別途案内を施設宛に郵送する。

**学術部**：学術部資料参照

**教育部**：特になし

**財務部**：特になし

**保険部**：特になし

**福利部**：特になし

**作業療法推進事業委員会**：

1. ウェルフェアの報告：推進委員会 ウェルフェア報告の資料参照

2. 高校生施設見学会の報告： 施設承諾：76施設

申し込み学生数：150名 (H22年度 52名)

お断り施設数：47施設

7月上旬から中旬にかけて 申込者、施設側にFAXで配置伝達予定  
返答がない施設に確認を行っていく

**規約委員会**：特になし

**表彰選考委員会**：特になし

**選挙管理委員会**：特になし

**法人化準備委員会**：

**都道府県連絡協議会**：埼玉学会前日に総会があり、会長出席予定。

**機関誌編集委員会**：特になし

**第20回県学会 学会長**：なし

**第19回県学会 学会長**：第19回県学会報告資料参照

## 検討事項

**会長**：特になし

**副会長**：特になし

**事務局**：特になし

**広報部**：特になし

**学術部**：第二回学術部研修会について（学術部資料 参照）

研修会において、保険部より診療報酬改定研修（2月26日）の伝達講習も併せて実施

**教育部**：H23年度 現職者共通研修開催について（教育部資料 参照）

委員2名変更→承認、委嘱状を送付する

内容は大きな変更なし→承認

台風などの対応について事前に伝達しておき、必要時はHPにて確認してもらう

他研修会で事例報告を行った承認も本研修会で行う

現職者研修会のポイント承認は現職者研修会にて行い、他研修会の承認は海南で行う

**財務部**：特になし

**保険部**：特になし

**福利部**：特になし

**作業療法推進事業委員会**：

1. 高校生施設見学会の担当を、現在の担当校である日本医療閉科に伴い、県下各養成校に委託し輪番制としたい。

・各学校より委員を選出し、今後の施設見学会の進め方について検討してはどうか？（意見）

⇒ 新美委員長及び事務局長相談のうえ各養成校に電話をし、1名の担当者を選出頂けるかを確認する。確認の結果を次回理事会で報告する。

・養成校に限らず、臨床も含めて輪番制にするか？

⇒ 臨床では時間的制約（問い合わせなども臨床時間内にあり）で難しいため、学校にて引き受けていただくほうがよい

現職者共通研修で引き受けていない学校に依頼していくのはどうか

・担当者は施設見学会だけでなく、ウェルフェアも含めた委員とするか？

⇒ 委員の人数を増やし（学校、臨床も含めて）、その中で担当者を決めて、企画・運営していくように組織化していくのはどうか

事務局より養成校の教員に要請していく

愛知県内 OT協会会員 約1800名、愛知県士会員 約1400名

教員が会員になっていない学校がある。委員に入ってもらい要請を含め、会員になっていただく機会となれば良いのではないかと

**規約委員会**：特になし

**表彰選考委員会**：特になし

**選挙管理委員会**：特になし

**法人化準備委員会**：

1. 税理士より…今後の方針を会議する予定。日程は（7月10日以降）未定。その際にパソコンの用意をという話が出ている。パソコンはインターネットがつながる状態にしてほしいといわれているが、どの様に対処すれば良いか？

⇒ 個人契約し、立て替え払いを行い、通信運搬費で計上する

8月の理事会にて税理士が出席して挨拶をする予定

**都道府県連絡協議会**：特になし

**機関誌編集委員会**：機関誌査読委員以下、3名の増員について

石井 文康 氏（日本福祉大学：2295）

志水 宏行 氏（日本福祉大学：1725）

向 文緒 氏（中部大学：2039）

坂井 一也 氏（星城大学：1678）

通常は県学会内の発表演題より座長推薦を行っているが、今回は東海北陸にて時期がずれたため、東海北陸・第19回県学会の発表者より投稿を募るため、投稿数が増加する見込みである為  
⇒ 承認

**その他**

1. 総会時の意見（ブロック制）について

県士会が身近になるような組織になるためにという検討はなされていた  
交流会をブロックごとに行っていくという意見についてどうするか

⇒ ブロック制にする目的を明確にする必要がある

高島氏に福利部へ入ってもらい、企画を練ってもらってはどうか

交流会+研修会の開催をしてはどうか

いきなり組織化していても、地域でバラバラになる可能性が高い。また、負担が大きい  
ため、1つのブロックごとに開催を行い、人を育てていくことも必要

⇒ 三河方面の理事がないため、理事の地域バランスを考える

学術部が研修会を地域ごとに行い、委員を増やしていくことを検討していく

県士会自体の組織化を検討することも必要

（各部の役割の見直し、調査の実施など）

2. 義援金の金額をニュースに掲載した

3. 第21回学会長について、次回以降で検討していく